

**「学生による授業評価  
アンケート」に見る  
授業実態**

札幌大学  
札幌大学女子短期大学部  
FD推進委員会

# 「学生による授業評価アンケート」に見る 札幌大学の授業実態

平成16年7月  
FD推進委員会

FD推進委員会は現在、今後の授業アンケート及びFD推進全般の指針を得るため、平成13年度前期以降3ヵ年度・計6回にわたって実施してきた、「学生による授業評価アンケート」の資料の整理・再点検を行っている。その経緯並びに評価、今後に向けての取り組み等については「中間総括（第一次）」に譲るが、その過程で得られた情報を、「札幌大学の授業実態」として提供する。個別教員の「授業形態・方法の改善・向上」の一助として、また各セクションにおける検討資料として活用していただければ幸いである。

なお、今後の資料蓄積の改善に向けて、今年度春学期のアンケート調査においては一部改良を加えて実施している。

## 1. アンケート調査の実施状況

アンケートの実施率についての詳細は現在調査中であるが、平成14年度後期72%（法学部を除く）、平成15年度春学期56%、平成15年度秋学期74%との数値が公表されている。

また、専任教員・兼任教員別の実施状況は下表の通り。実施科目数・回答者数とも年々増加傾向を辿り、数百科目・延べ2万人を超える学生がアンケートに参加していることから、「授業アンケート」は、法学部の独自調査も含め、本学に着実に根付いてきていると判断しうる。

〈第1表〉

年度	専任教員			兼任教員			合計		
	対象科目数	履修者	回答者	対象科目数	履修者	回答者	対象科目数	履修者	回答者
H14(前) 2002	129科目	14,911人	8,581人 57.5%	166科目	8,089人	4,977人 61.5%	295科目	23,000人	13,558人 58.9%
H14(後) 2002	255科目	21,784人	11,127人 51.1%	349科目	23,084人	10,860人 47.0%	604科目	44,868人	21,987人 49.0%
H15(春) 2003	217科目	22,392人	12,408人 55.4%	217科目	12,217人	7,264人 59.5%	434科目	34,609人	19,672人 56.8%
H15(秋) 2003	314科目	25,930人	12,338人 47.6%	310科目	15,716人	8,690人 55.3%	624科目	41,646人	21,028人 50.5%

## 2. 「アンケート調査結果」に見られる「札幌大学の授業の実態」

授業評価アンケートの結果は膨大なデータとして集積されてきてはいるが、アンケート調査実施の主旨、調査結果の活用方法、データ化の間に明確な目的意識が見られなかったため、あるいは「個別教員の個別授業科目」にのみ重点が置かれたため、データ整備の改善が図られてこなかった。その結果、今日の段階では、分類集計・分析（学部学科別、共通・専門別等）は難しい状況にある。

しかし、調査結果データには、今後の「授業改善」のためのヒントが潜んでいると思われる。大学・学部学科の教育姿勢・内容の教育改革、授業改善のためには勿論のこと、「個別教員の個別授業科目」の「授業改善」のためにも、「多様な授業」が現に存在し、「学生の多様な要望」に答えていることの実態を伝え、情報を提供することは必要であると考えられる。

総体としての分析は困難ではあるが、一定の条件の下で「注目科目」を抽出し、サンプル調査は可能である。サンプル調査とは言え、個別教員の努力のみでは解決困難な問題点も浮き彫りになってくる。以下、「授業評価アンケート」から見た「札幌大学の授業実態」を紹介する。

### (1) 全学集計から〈第1-1～第1-2図・第2図〉参照

対象科目の回収率（回答者数／履修者数）、出席状況等から見て、少なくとも授業への参加度合いの高い学生たちの目に映った「授業実態」がどのようなものであるかは判断可能である。

①アンケート調査結果（アンケート参加学生）から見る限り、学生の授業に対する総体的評価としては概ね高い、と判断しうる。

- 最高点（最低点）領域よりは次点領域への集中度が高い項目と、両領域が接近している項目とに分かれはするが、次点領域への集中度の高い項目でも最高領域への移動が見られ、両領域は接近
- 「教員の熱意」は「好評価」を得るも、「授業内容」「教員の話」「教材に有効活用度」「教室環境」等においては15～20%前後の「低評価」層が存在。（この点の問題点及び一層の分析は次項以下で展開）

②「授業の履修動機」・「得たもの」（第2図、参照）

- （最大多数の学生像）：「授業の内容・テーマに興味」から履修し、受講の結果、「専門的知識・技能」を得た
- 「必修あるいは卒業・進級に必要」という「必要性」に迫られて履修しつつも、「専門的知識・技能」のほか、「時代や社会を見る眼」あるいは「知的好奇心・探求心」「を養うことができた」。

こうした「全体集計値」（全体像・平均像）からだけでは、「授業改善の必要性」は見てこない。「全体像（平均像）」を「標準」としつつ個別科目を検討することにより、個別授業の授業形態・方法の改善、個別授業を取り巻く環境改善に向けた要因を析出する必要がある。

基礎データの不備（現存データの整備状況・カリキュラム変更・実施状況等）から、「サンプル調査」を試みる。

## (2) 共通科目の分析 [〈第3図～第7図〉](#) 参照

「共通科目」の場合、その履修動機はその大半が「授業の内容・テーマに興味」にあり、次いで「曜日・時間帯の関係」。「共通科目の性格」（『2004 学生生活のてびき』126-127頁、参照）を考慮して、「授業を通じて得たもの」及び「総合評価」を軸に、専任教員の担当する、2003年度春学期21科目、2003年度秋学期22科目を抽出して分析。

### ① 全般的評価 [〈第3図・第4図〉](#) 参照

- 授業を通じて得たもの・授業難易度・総合評価の点で、かなりのバラツキが見られる。
- 授業内容の難易度と総合評価の間には、かなり高い相関があると見られる。
- 授業内容の難易度・総合評価と授業を通じて得たものとの関連は薄い。
- 春学期に比べ秋学期の方が評価は良好。（生徒→学生へと成長？）

↓  
「共通科目」においては、科目によって「授業を通じて得たもの」は異なり、「総合評価」の高低に関わりなく、学生に対して「学習のための有益な契機」を与え得ている。

但し、各科目の特性を知るにはクロス集計が必要になるので、最低限のクロス集計を試みる。[〈第5図～第7図〉](#)参照

### ② クロス集計：「履修動機の違い」による「総合評価」「授業内容の難易度」の違い、「得たもの」の「厚み」の違い

- 「履修動機」を分類基準にみると、「授業のテーマ・内容に興味」から履修した学生と「曜日時間帯の関係」で履修した学生の間には、各項目の間で違いが見られ、総じて、前者の方が良好な評価
- 「授業を通じて得たもの」を見てみても、前者の方がより実りの多い授業であったことは明白

↓  
◎ 「履修動機」が授業提供者にとっても授業享受者にとっても、共に授業を良いものとするか悪いものにするかの分かれ目になっている。

「シラバス」を含めた「事前情報の提供」の重要性（＝現状不十分）  
シラバスの提供情報の内容、情報提供の方法、履修届のあり方

「授業内容の難易度」の再点検

学生が「むずかしい」「やさしい」と感じる要因は？

学生からの発信のあり方・受け止め方

調査項目の点検（ex. 授業素材への関心度）

## (3-1) 経済学部専門科目（2002年度前期） [〈第8-1～第8-3図〉](#) 参照

経済学部カリキュラムは「自由選択」を基本としてするためか、「履修動機」はほぼ「共通科目」に同じで、特徴も同様と考える。

## (3-2) 経営学部専門科目（選択必修科目）（2002年度前期） [〈第9図〉](#) 参照

経営学部カリキュラムは必修・選択必修・自由選択の組み合わせから成る。「共通」「経済専門」とは異なる「履修動機」を示す「選択必修科目」を抽出する。

- 履修動機では「進級・卒業に必要」が最大比重。次いで「授業のテーマ・内容に興味」「曜日時間帯の関係」の順。
- 学生の評価では、「テーマ・内容に興味」が最も良好な評価得ている。「曜日時間帯」の者は出席率・自己評価において、かなり劣る結果。
- 「授業を通じて得たもの」は、経済学部 비해、「専門的知識・技能」が飛び抜けて高く出ている（抽出科目によるのか、教育目標・カリキュラムの特色なのかは、なお検討必要）。

## (4) 現行「アンケート調査」の限界・問題点

- 「少人数科目」におけるアンケート調査のあり方
- 授業享受者サイドの取り組みの調査の不充分さ

質問項目は「出席率」と「熱心に受講したか」のみ

授業そのものへの関心度合い（講義素材への興味）・自宅学習（学則上、授業時間の2倍を必要とされている）・理解度等が欠如

↓

現行アンケート項目は、「授業提供者に対する学生の評価」が過大に盛られて、「授業享受者の授業に対する取り組み」が十分に把握できない。

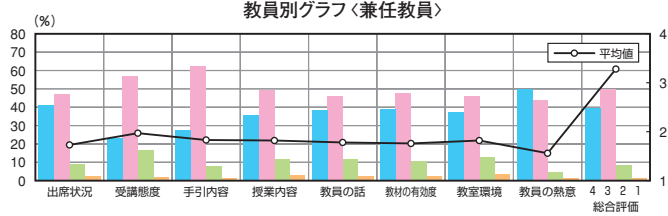
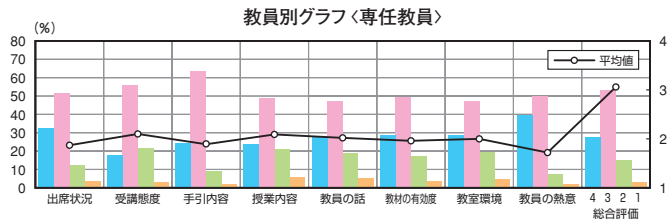
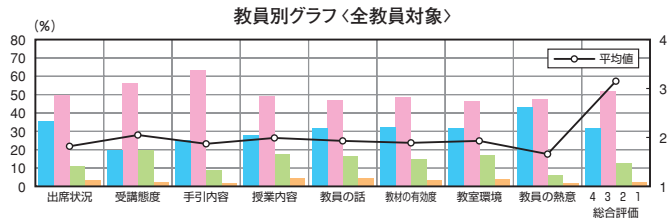
- 「自由回答」の処理方法（情報提供方法→レスポンスの妥当性等）

# 学生による授業評価 (全学)

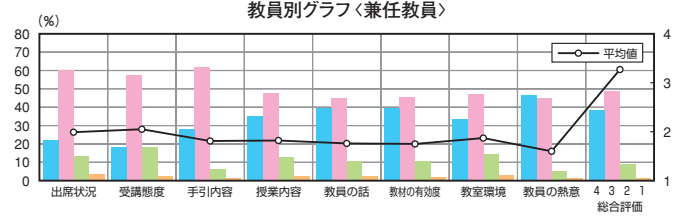
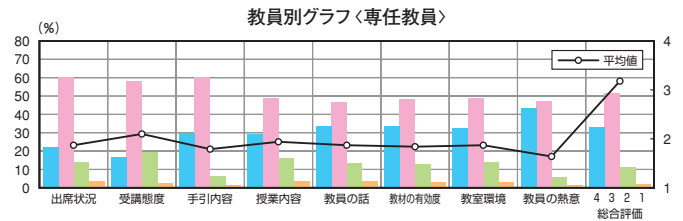
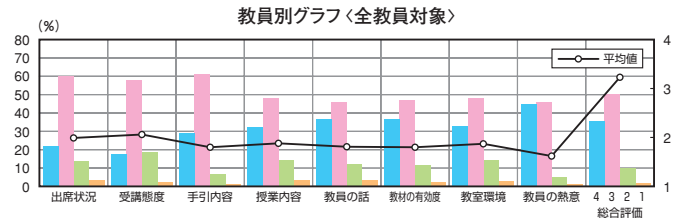
〈第1-1図〉

質問項目の回答を教員別にグラフ化  
平均値は4択の回答比率を算出

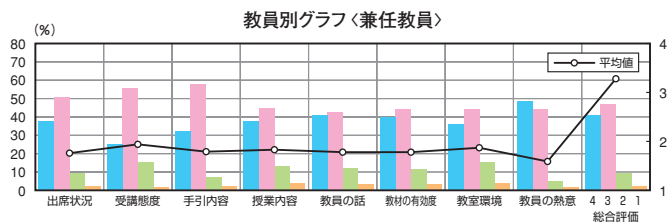
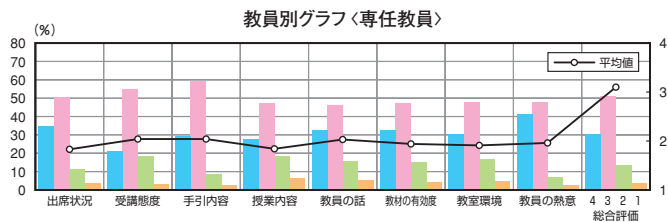
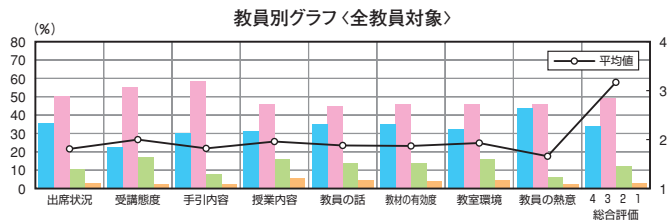
## 2002年度前期



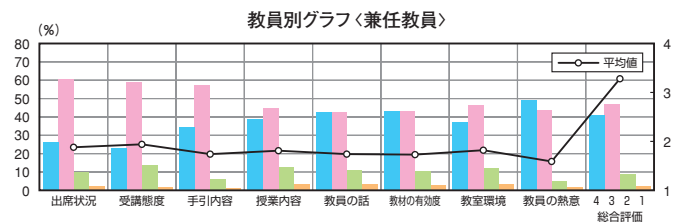
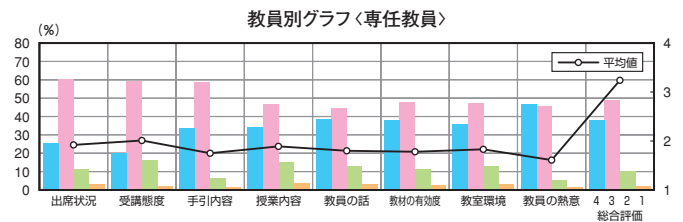
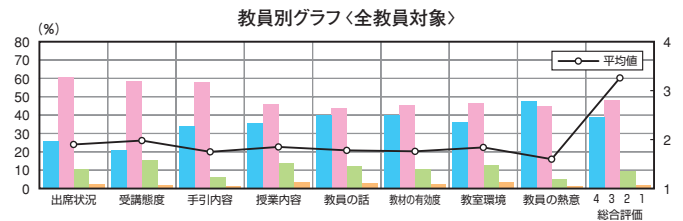
## 2002年度後期



## 2003年度春学期



## 2003年度秋学期



### 質問項目内容一覧

出席状況	この授業に対するあなたの出席率はどうでしたか？	全部出席	2/3以上	1/2以上2/3未満	1/2未満
受講態度	この授業に対し、あなたは熱心に受講しましたか？	非常に熱心	熱心	あまり熱心ではなかった	不熱心
手引内容	「シラバス」は授業内容、授業計画を適切に示していた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
授業内容	授業内容はわかりやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の話	教員の話は聞き取りやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教材の有効度	教科書、黒板、機器、プリントが有効に使われていた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教室環境	私語や携帯電話の使用などがなく、授業に集中できた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の熱意	教員の授業に対する熱意が感じられた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
総合評価	この授業に対する総合評価をしてください。4点方で最高が4、最低が1です。	4点	3点	2点	1点

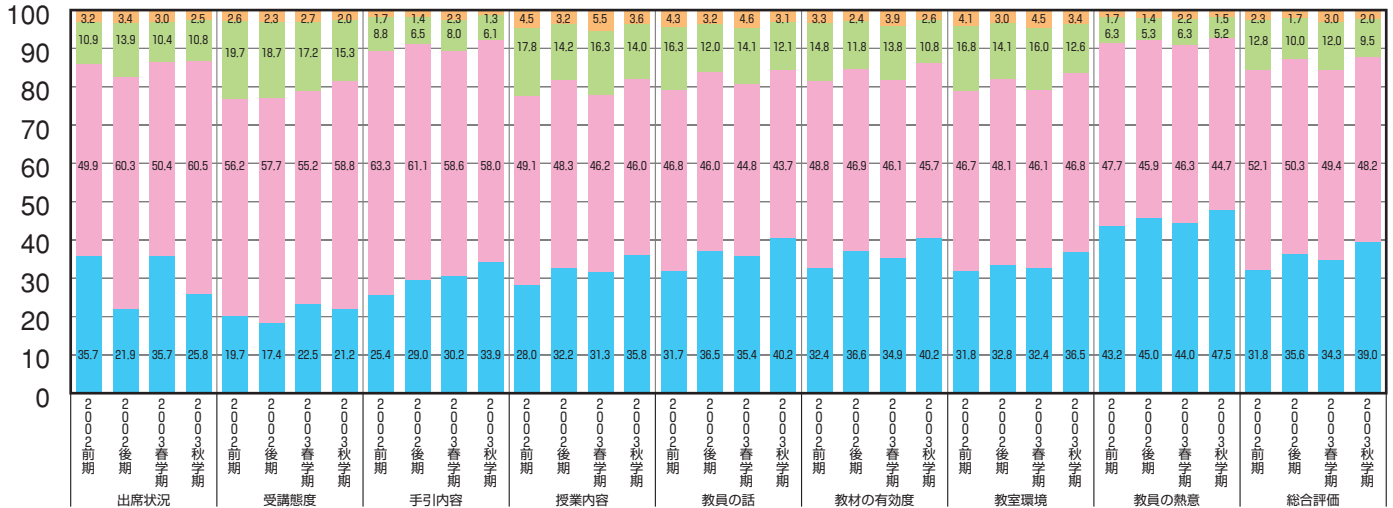


# 学生による授業評価 (全学集計版)

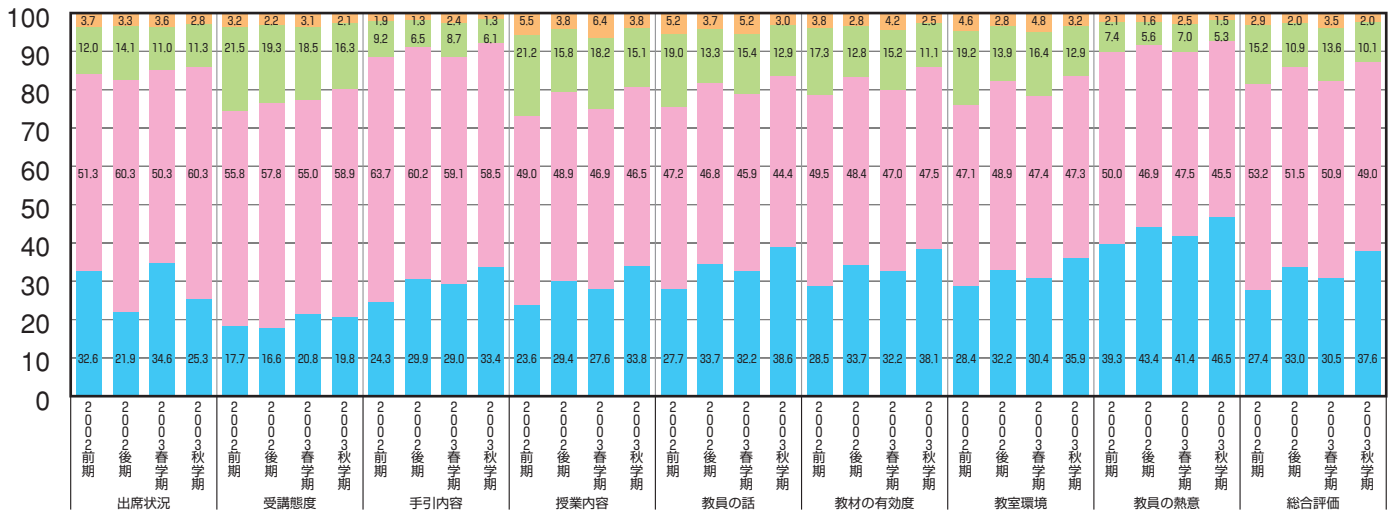
〈第1-2図〉

教員別のグラフを集計し  
項目別評価別構成比としてグラフ化

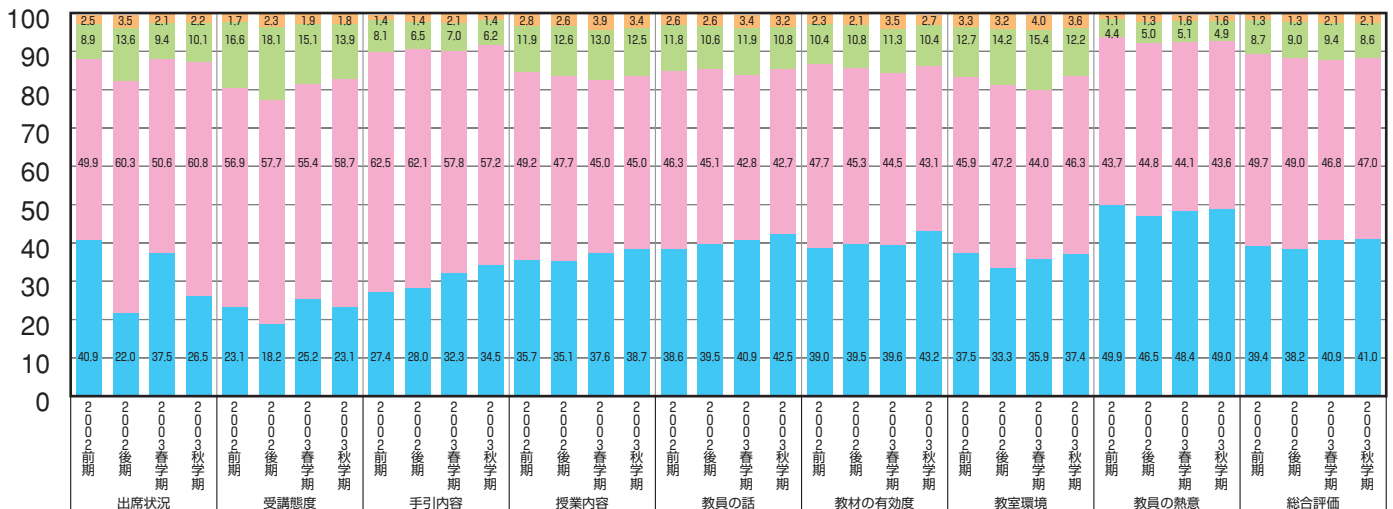
教員別グラフ〈全教員対象〉



教員別グラフ〈専任教員対象〉



教員別グラフ〈兼任教員対象〉

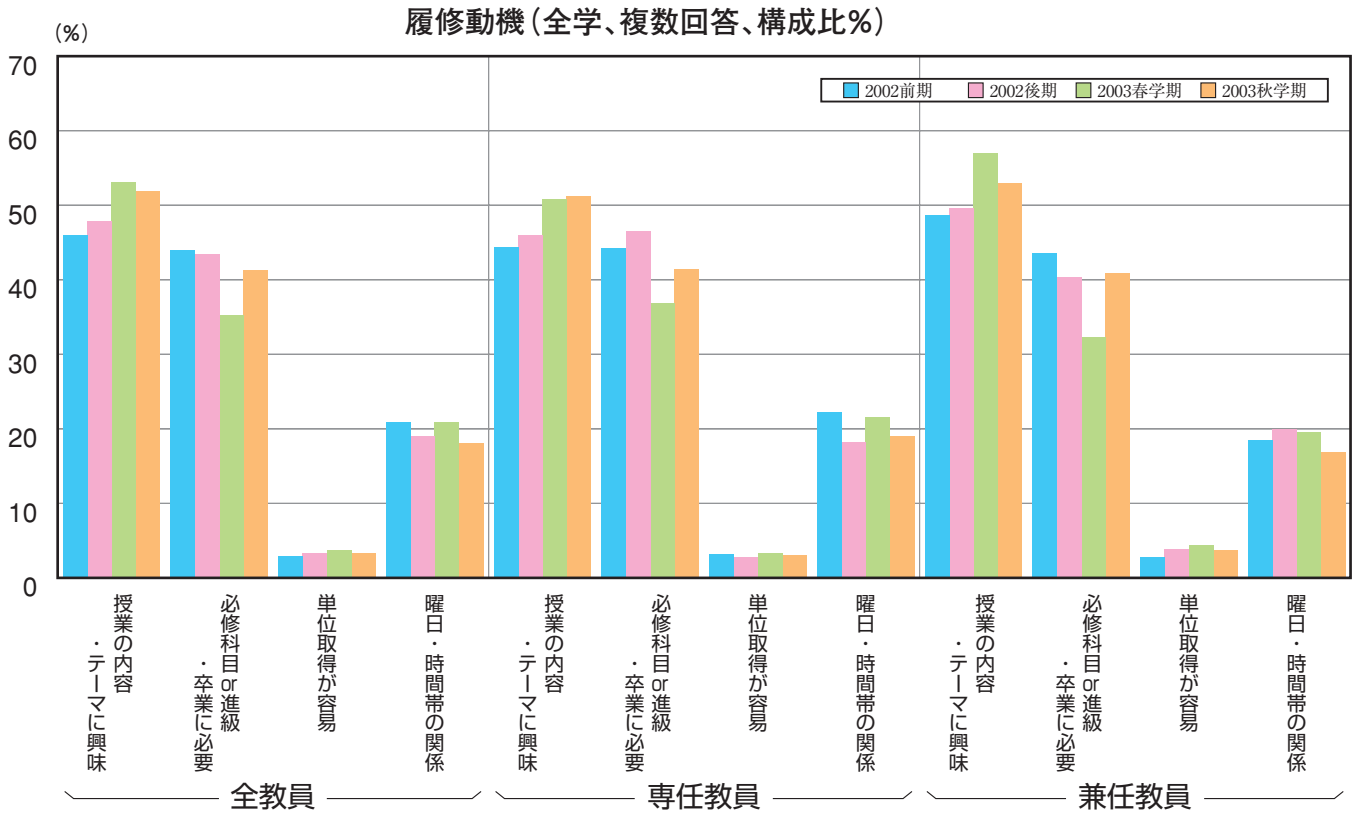


# 履修動機・授業を通じて得たものの分布状況

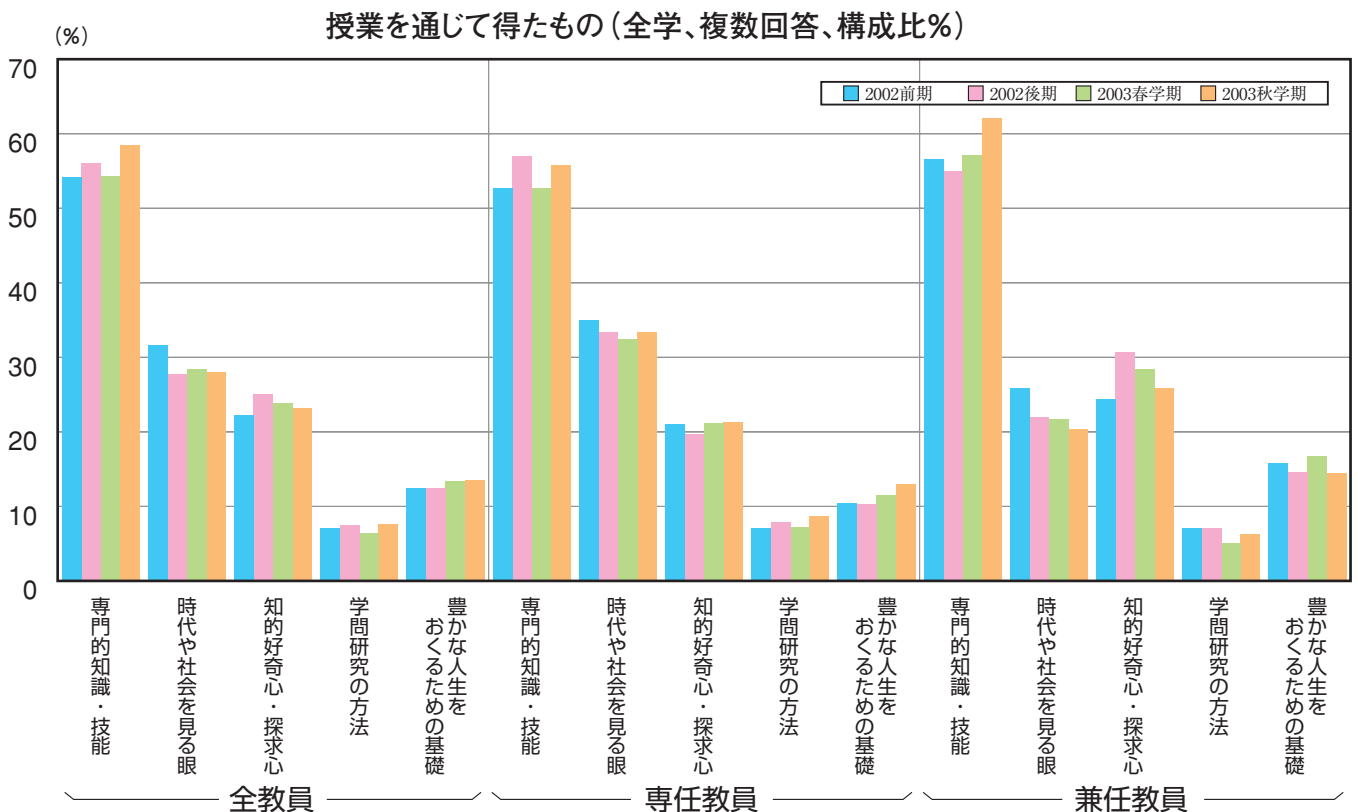
- (最大多数の学生像):「授業の内容・テーマに興味」から履修し、受講の結果、「専門的知識・技能」を得た。
- 「必修あるいは卒業・進級に必要」という「必要性」に迫られて履修しつつも、「専門的知識・技能」のほか、「時代や社会を見る眼」あるいは「知的好奇心・探求心」を養うことができた。

〈第2図〉

問3：あなたは、なぜこの授業を受講しましたか？



問4：授業を通じて得たものは何ですか？



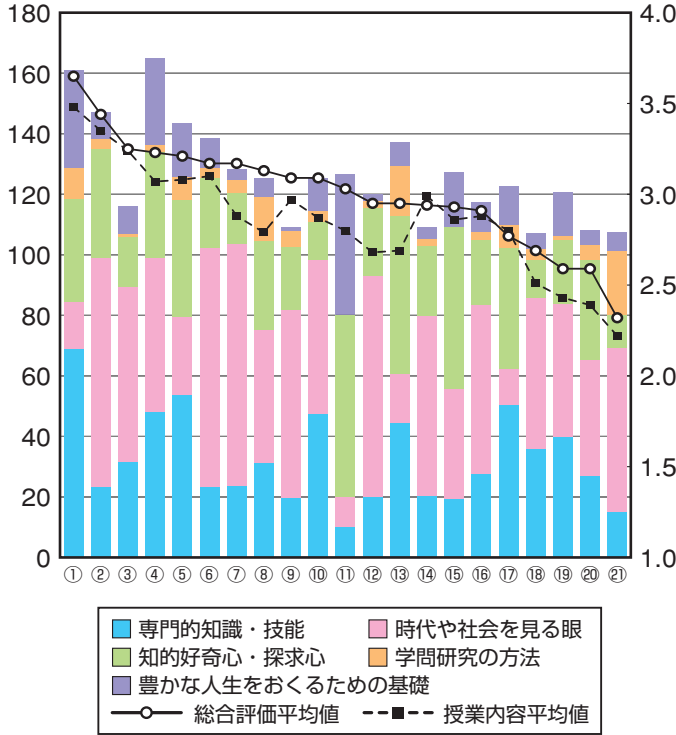
# 共通科目授業の年度別評価

「共通科目」の場合、その履修動機はその大半が「授業の内容・テーマに興味」にあり、次いで「曜日・時間帯の関係」。「共通科目の性格」(『2004 学生生活のてびき』126-127頁、参照)を考慮して、「授業を通じて得たもの」及び「総合評価」を軸に、専任教員の担当する、2003年度春学期21科目、2003年度秋学期22科目を抽出して分析。

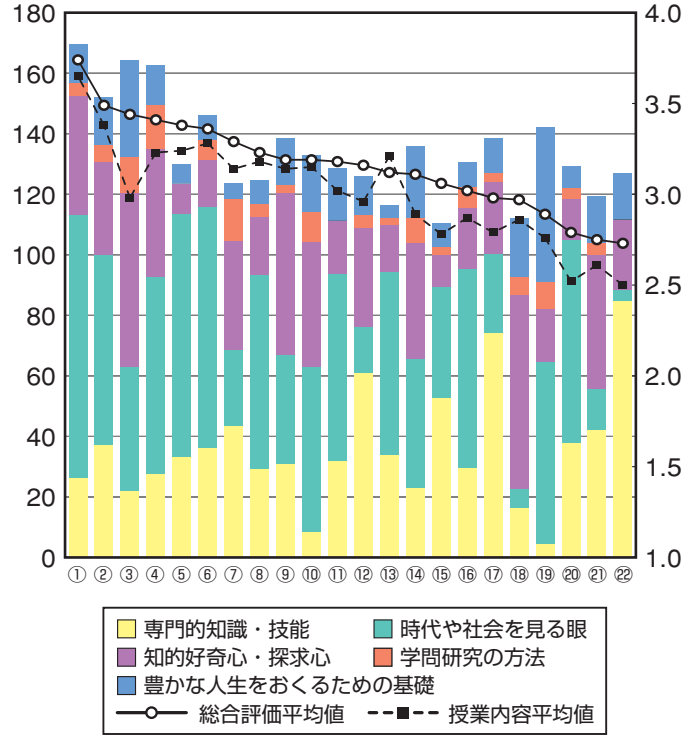
〈第3図〉

「授業で得たもの」の回答をグラフ化  
①～⑳は授業科目を表しています

授業評価(1) 2003年度春学期



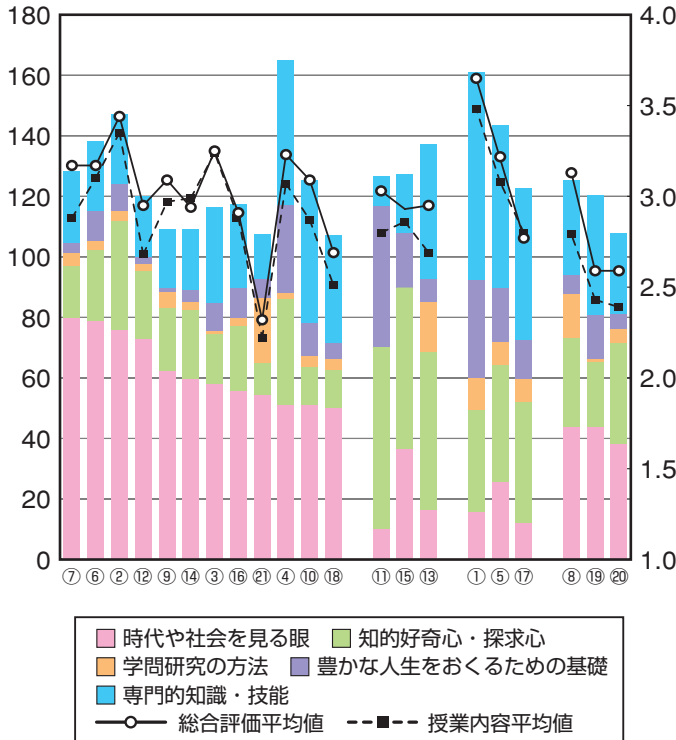
授業評価(1) 2003年度秋学期



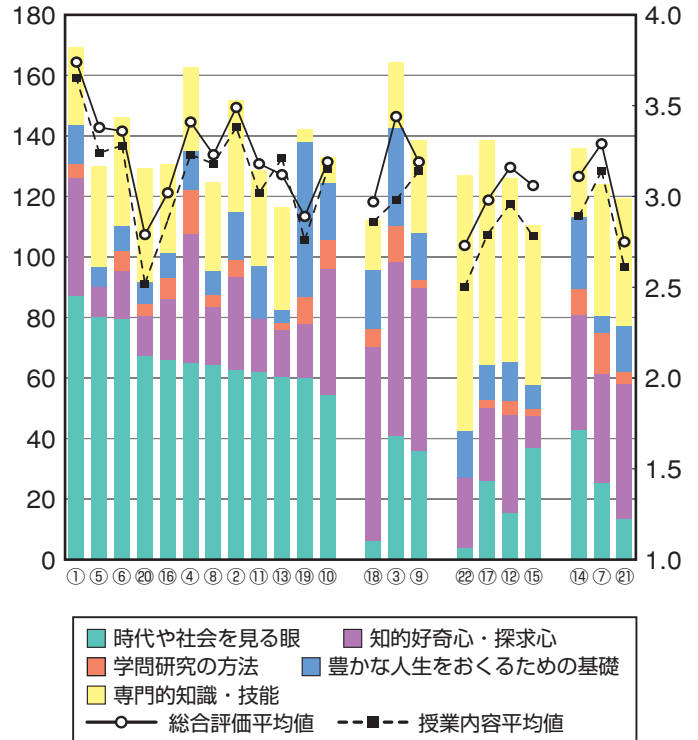
※「授業内容の平均値」は他の資料と異なり、「非常にわかりやすい」を4点、「非常にわかりにくい」を1点として算出。

〈第4図〉

授業評価(2) 2003年度春学期



授業評価(2) 2003年度秋学期



※「授業内容の平均値」は他の資料と異なり、「非常にわかりやすい」を4点、「非常にわかりにくい」を1点として算出。

# 「履修動機」別の学生評価2003春

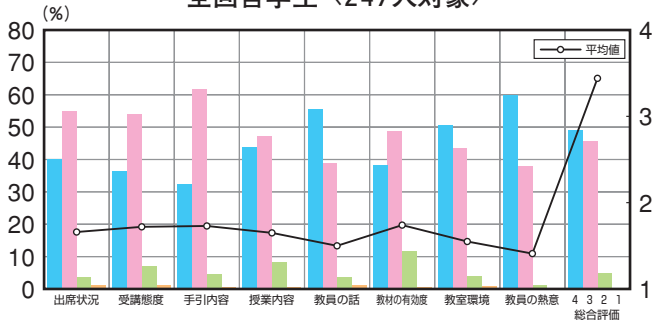
各科目の特性を知るにはクロス集計が必要になるので、履修動機（「講義テーマ興味」と「曜日時間割の都合」）からのクロス集計を試みる。

〈第5-1図〉

問3、問4の回答別にグラフ化  
平均値は4択の回答比率を算出

## 科目 ②

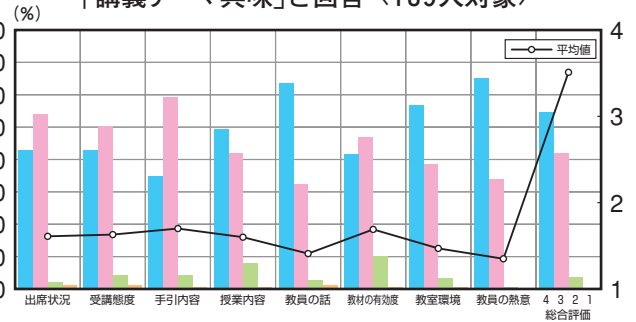
全回答学生 〈247人対象〉



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	57人	23.1
ロ	時代や社会を見る眼	187人	75.7
ハ	知的的好奇心・探求心	89人	36.0
ニ	学問的研究の方法	9人	3.6
ホ	豊かな人生を送るための基礎	22人	8.9

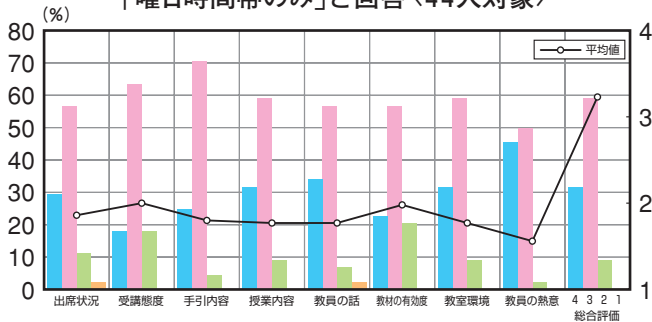
「講義テーマ興味」と回答 〈189人対象〉



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	49人	25.9
ロ	時代や社会を見る眼	148人	78.3
ハ	知的的好奇心・探求心	75人	39.7
ニ	学問的研究の方法	9人	4.8
ホ	豊かな人生を送るための基礎	13人	6.9

「曜日時間帯のみ」と回答 〈44人対象〉

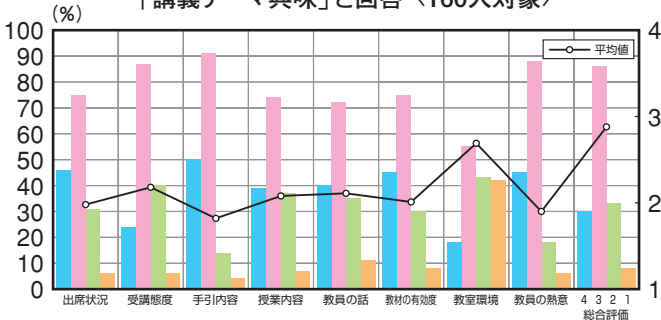


〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	5人	11.4
ロ	時代や社会を見る眼	33人	75.0
ハ	知的的好奇心・探求心	10人	22.7
ニ	学問的研究の方法	0人	0.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	7人	15.9

## 科目 ⑱

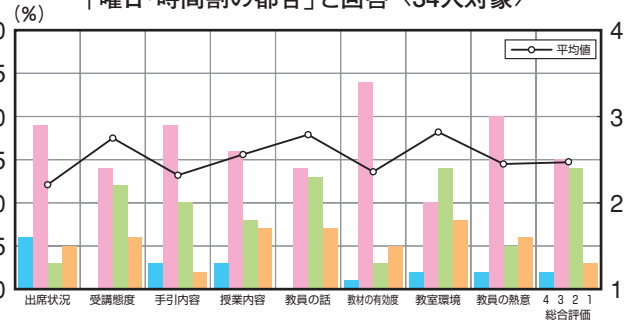
「講義テーマ興味」と回答 〈160人対象〉



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	89人	55.6
ロ	時代や社会を見る眼	17人	10.6
ハ	知的的好奇心・探求心	73人	45.6
ニ	学問的研究の方法	11人	6.9
ホ	豊かな人生を送るための基礎	23人	14.4

「曜日・時間割の都合」と回答 〈34人対象〉



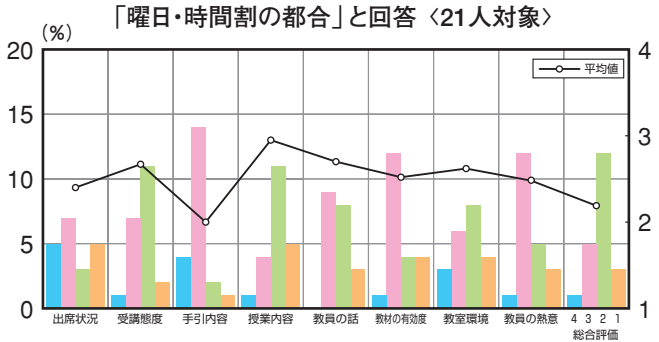
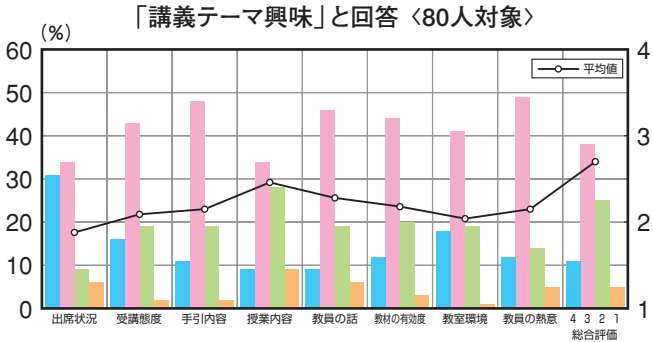
〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	9人	26.5
ロ	時代や社会を見る眼	3人	8.8
ハ	知的的好奇心・探求心	12人	35.3
ニ	学問的研究の方法	4人	11.8
ホ	豊かな人生を送るための基礎	4人	11.8



〈第5-2図〉

科目 ⑱



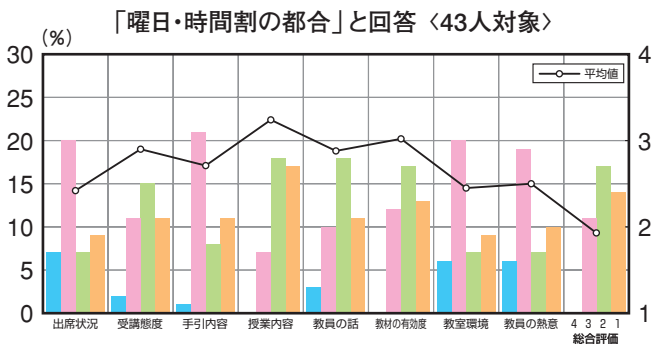
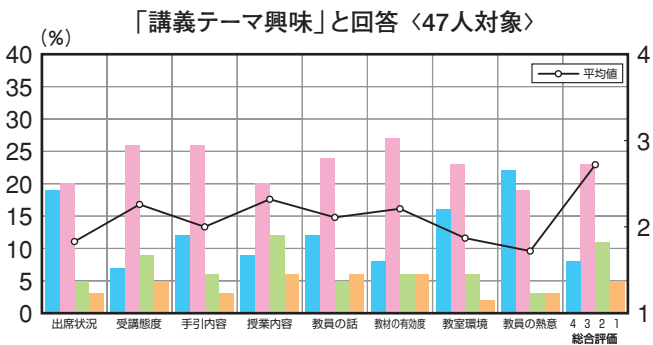
〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	33人	41.3
ロ	時代や社会を見る眼	38人	47.5
ハ	知的好奇心・探求心	18人	22.5
ニ	学問的研究の方法	1人	1.3
ホ	豊かな人生を送るための基礎	13人	16.3

〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	8人	38.1
ロ	時代や社会を見る眼	7人	33.3
ハ	知的好奇心・探求心	2人	9.5
ニ	学問的研究の方法	0人	0.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	2人	9.5

科目 ㉑



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	11人	23.4
ロ	時代や社会を見る眼	33人	70.2
ハ	知的好奇心・探求心	6人	12.8
ニ	学問的研究の方法	15人	31.9
ホ	豊かな人生を送るための基礎	3人	6.4

〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	3人	7.0
ロ	時代や社会を見る眼	18人	41.9
ハ	知的好奇心・探求心	4人	9.3
ニ	学問的研究の方法	4人	9.3
ホ	豊かな人生を送るための基礎	3人	7.0

質問項目内容一覧

出席状況	この授業に対するあなたの出席率はどうでしたか？	全部出席	2/3以上	1/2以上2/3未満	1/2未満
受講態度	この授業に対し、あなたは熱心に受講しましたか？	非常に熱心	熱心	あまり熱心ではなかった	不熱心
手引内容	「シラバス」は授業内容、授業計画を適切に示していた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
授業内容	授業内容はわかりやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の話	教員の話は聞き取りやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教材の有効度	教科書、黒板、機器、プリントが有効に使われていた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教室環境	私語や携帯電話の使用などがなく、授業に集中できた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の熱意	教員の授業に対する熱意が感じられた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
総合評価	この授業に対する総合評価をしてください。4点方で最高が4、最低が1です。	4点	3点	2点	1点

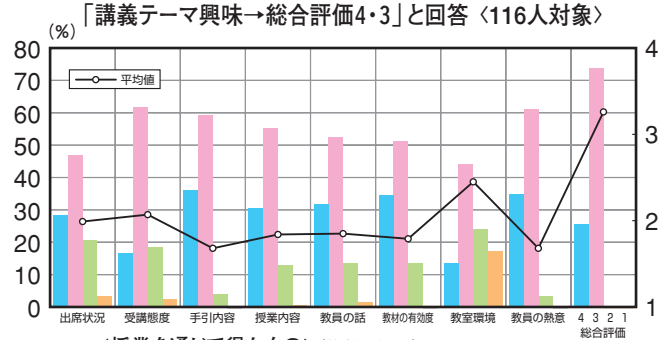
# 科目の要因分析

「履修動機」を分類基準にみると、「授業のテーマ・内容に興味」から履修した学生と「曜日時間帯の関係」で履修した学生の間には、各項目の間で違いが見られ、総じて、前者の方が良好な評価。

〈第6図〉

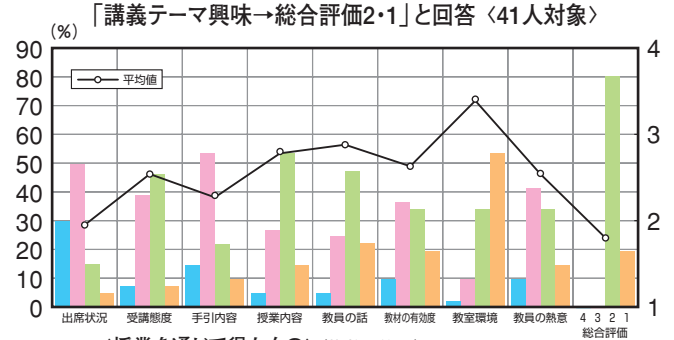
問3、問4の回答別にグラフ化  
平均値は4択の回答比率を算出

## 科目 ⑰



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

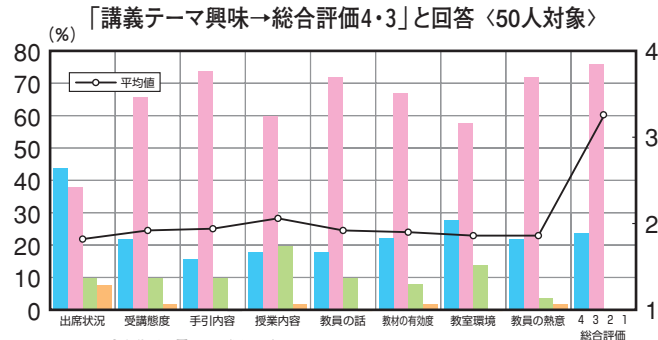
イ	専門的知識・技能	67人	57.8
ロ	時代や社会を見る眼	15人	12.9
ハ	知的的好奇心・探求心	56人	48.3
ニ	学問的研究の方法	7人	6.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	19人	16.4



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

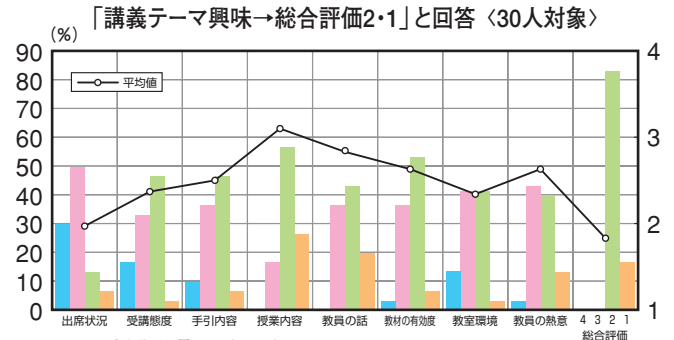
イ	専門的知識・技能	19人	46.3
ロ	時代や社会を見る眼	2人	4.9
ハ	知的的好奇心・探求心	17人	41.5
ニ	学問的研究の方法	3人	7.3
ホ	豊かな人生を送るための基礎	3人	9.8

## 科目 ⑱



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

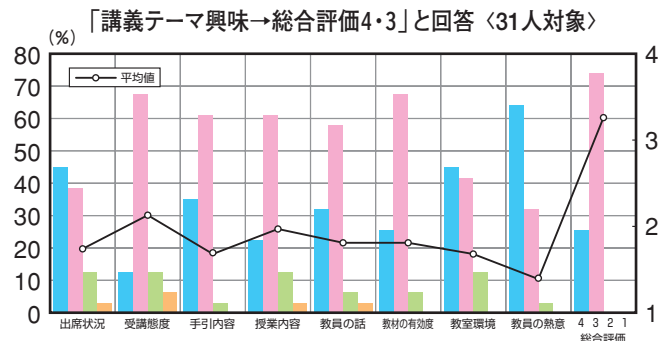
イ	専門的知識・技能	24人	49.0
ロ	時代や社会を見る眼	26人	53.1
ハ	知的的好奇心・探求心	12人	24.5
ニ	学問的研究の方法	1人	2.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	10人	20.4



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

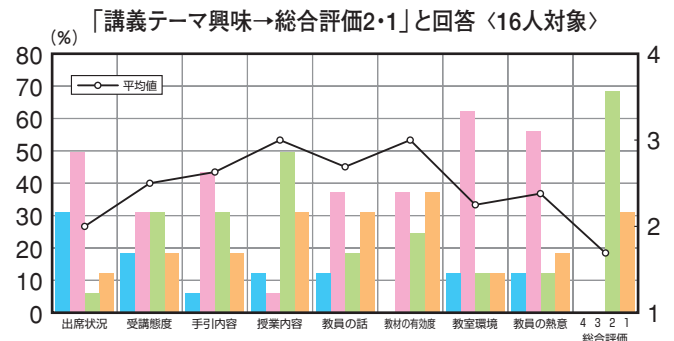
イ	専門的知識・技能	9人	30.0
ロ	時代や社会を見る眼	11人	36.7
ハ	知的的好奇心・探求心	7人	23.3
ニ	学問的研究の方法	0人	0.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	7人	23.3

## 科目 ㉑



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	7人	22.6
ロ	時代や社会を見る眼	23人	74.2
ハ	知的的好奇心・探求心	5人	16.1
ニ	学問的研究の方法	13人	41.9
ホ	豊かな人生を送るための基礎	2人	6.5

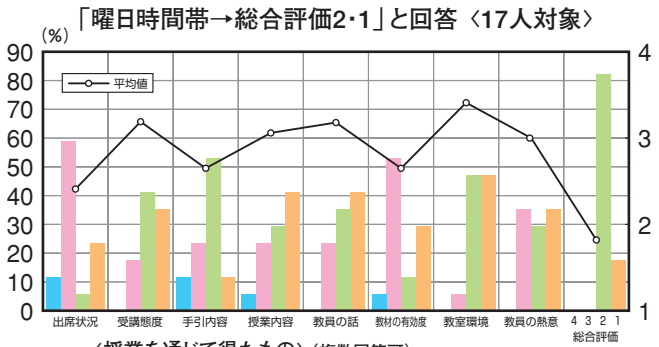
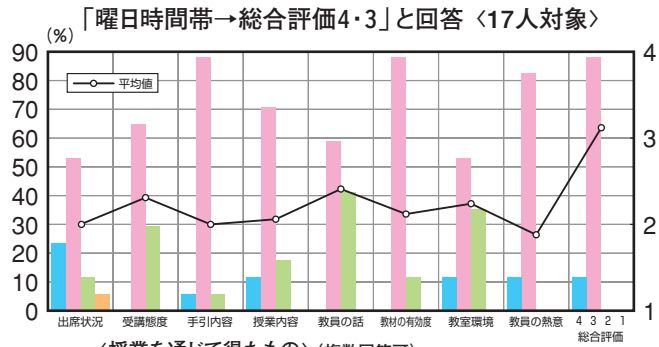


〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	4人	25.0
ロ	時代や社会を見る眼	10人	62.5
ハ	知的的好奇心・探求心	1人	6.3
ニ	学問的研究の方法	2人	12.5
ホ	豊かな人生を送るための基礎	1人	6.3

〈第7図〉

科目 ⑰



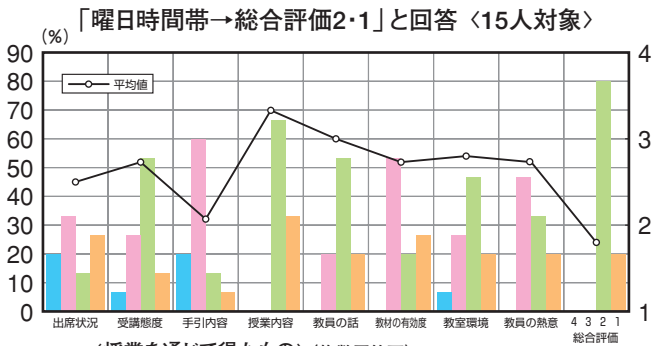
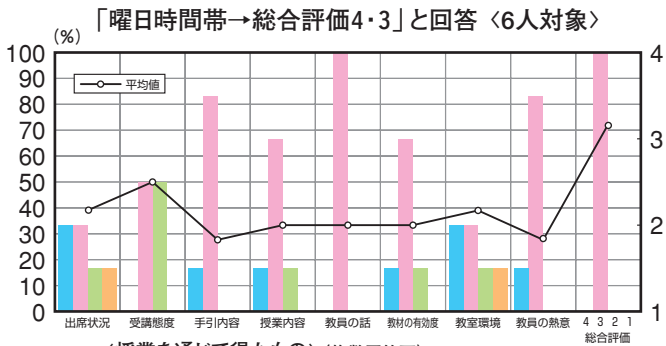
〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	5人	29.4
ロ	時代や社会を見る眼	3人	17.6
ハ	知的的好奇心・探求心	6人	35.3
ニ	学問的研究の方法	2人	11.8
ホ	豊かな人生を送るための基礎	2人	11.8

〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	4人	23.5
ロ	時代や社会を見る眼	0人	0.0
ハ	知的的好奇心・探求心	6人	35.3
ニ	学問的研究の方法	2人	11.8
ホ	豊かな人生を送るための基礎	2人	11.8

科目 ⑱



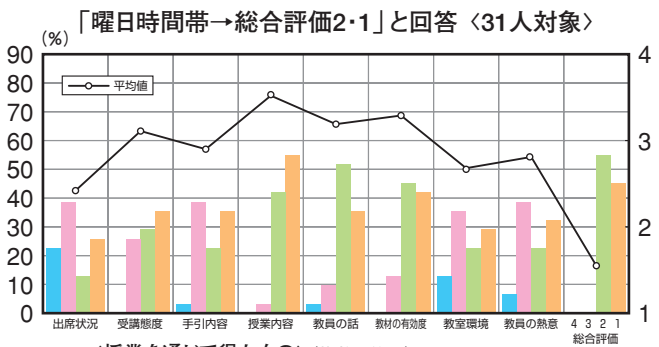
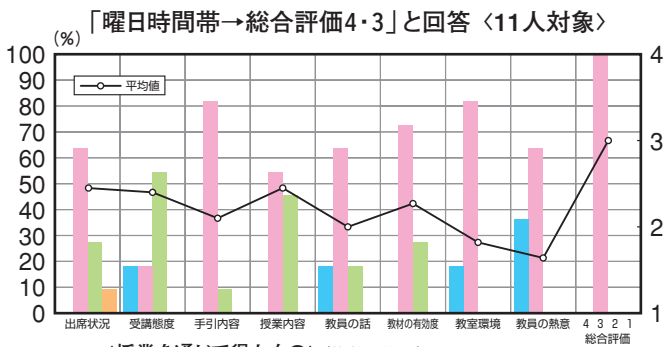
〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	2人	33.3
ロ	時代や社会を見る眼	3人	50.0
ハ	知的的好奇心・探求心	0人	0.0
ニ	学問的研究の方法	0人	0.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	1人	16.7

〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	6人	40.0
ロ	時代や社会を見る眼	4人	26.7
ハ	知的的好奇心・探求心	2人	13.3
ニ	学問的研究の方法	0人	0.0
ホ	豊かな人生を送るための基礎	1人	6.7

科目 ㉑



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	0人	0.0
ロ	時代や社会を見る眼	8人	72.7
ハ	知的的好奇心・探求心	1人	9.1
ニ	学問的研究の方法	2人	18.2
ホ	豊かな人生を送るための基礎	0人	0.0

〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)

イ	専門的知識・技能	3人	9.7
ロ	時代や社会を見る眼	9人	29.0
ハ	知的的好奇心・探求心	2人	6.5
ニ	学問的研究の方法	2人	6.5
ホ	豊かな人生を送るための基礎	3人	9.7

質問項目内容一覧

出席状況	この授業に対するあなたの出席率はどうでしたか？	全部出席	2/3以上	1/2以上2/3未満	1/2未満
受講態度	この授業に対し、あなたは熱心に受講しましたか？	非常に熱心	熱心	あまり熱心ではなかった	不熱心
手引内容	「シラバス」は授業内容、授業計画を適切に示していた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
授業内容	授業内容はわかりやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の話	教員の話は聞き取りやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教材の有効度	教科書、黒板、機器、プリントが有効に使われていた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教室環境	私語や携帯電話の使用などがなく、授業に集中できた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の熱意	教員の授業に対する熱意が感じられた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
総合評価	この授業に対する総合評価をしてください。4点方で最高が4、最低が1です。	4点	3点	2点	1点

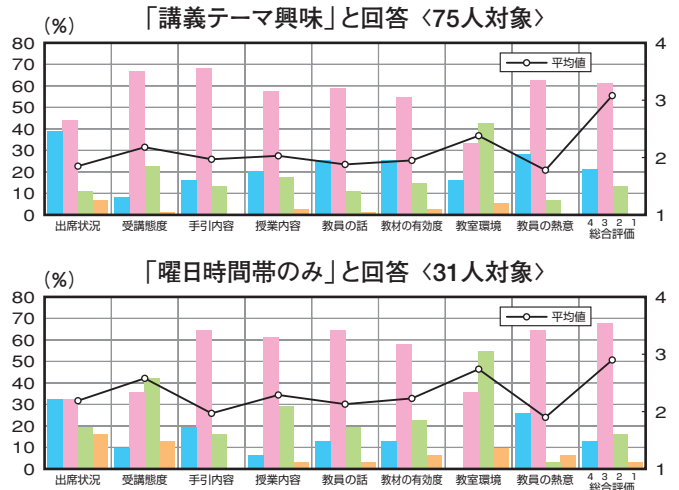
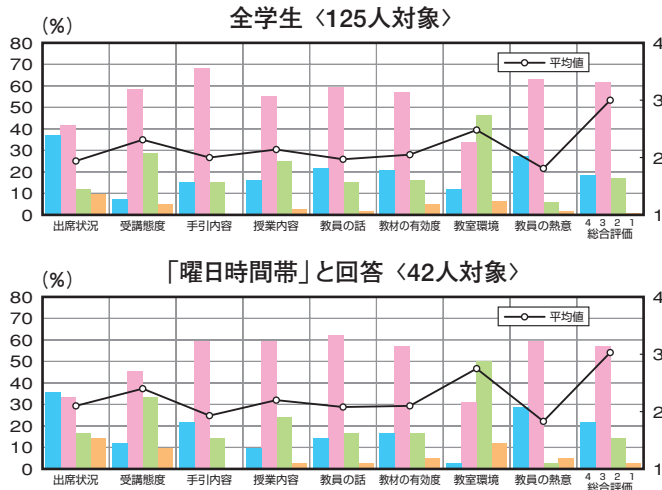
# 履修動機の回答別統計 (経済学部)

●経済学部カリキュラムは「自由選択」を基本としているためか、「履修動機」は、ほぼ「共通科目」に同じで、特徴も同様と考える。

〈第8-1図〉

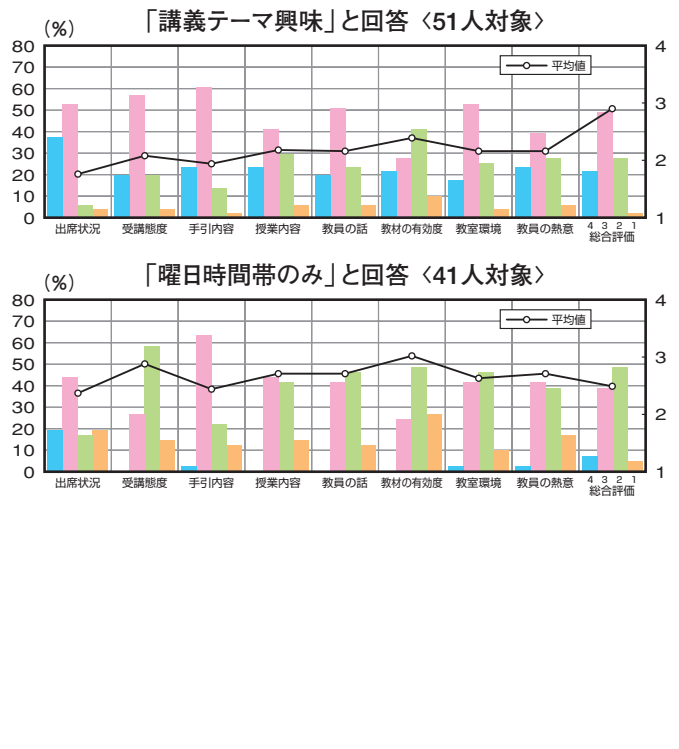
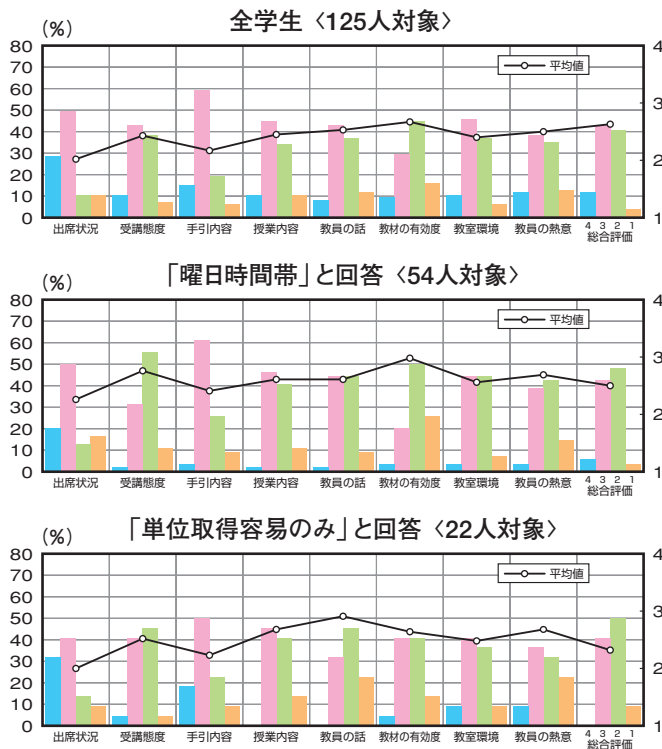
問3の回答別にグラフ化  
平均値は4択の回答比率を算出

## 選択科目A(1年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ
イ	専門的知識・技能	43人	30人	16人	8人
ロ	時代や社会を見る眼	78人	53人	22人	13人
ハ	知的好奇心・探求心	26人	19人	9人	6人
ニ	学問的研究の方法	6人	5人	2人	0人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	14人	5人	9人	7人

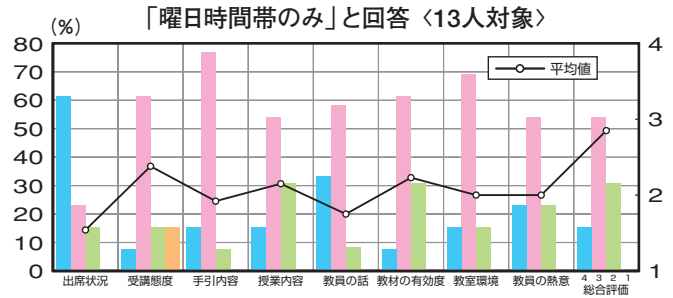
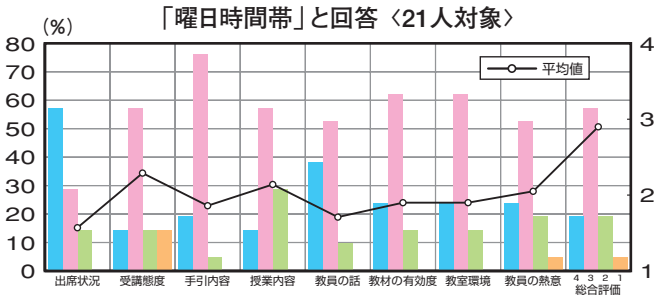
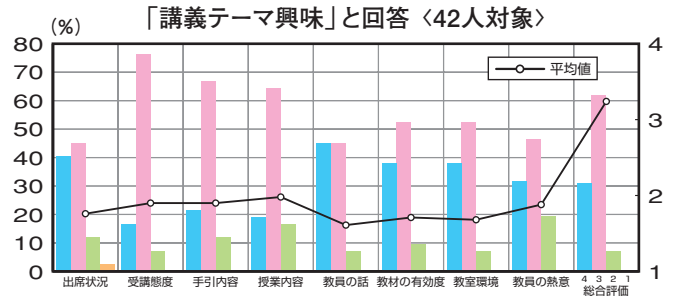
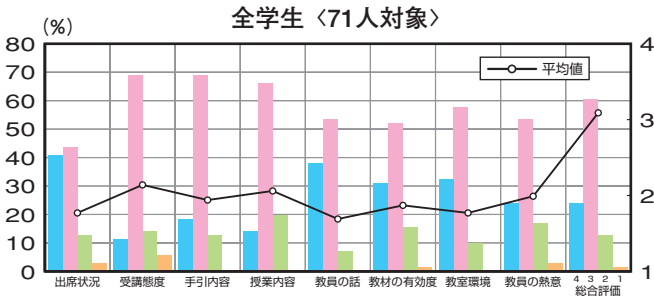
## 選択科目B(1年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ	単位取得容易
イ	専門的知識・技能	17人	11人	6人	3人	2人
ロ	時代や社会を見る眼	47人	21人	16人	14人	9人
ハ	知的好奇心・探求心	49人	24人	19人	11人	7人
ニ	学問的研究の方法	5人	1人	3人	3人	0人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	13人	4人	9人	7人	1人

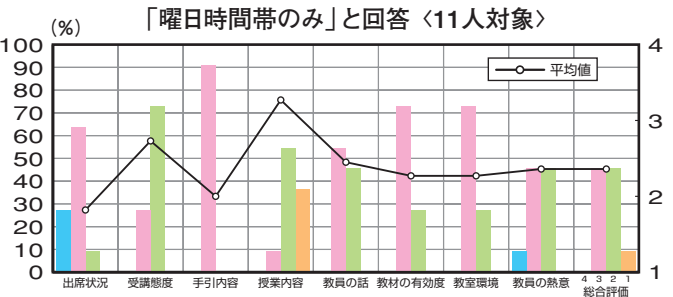
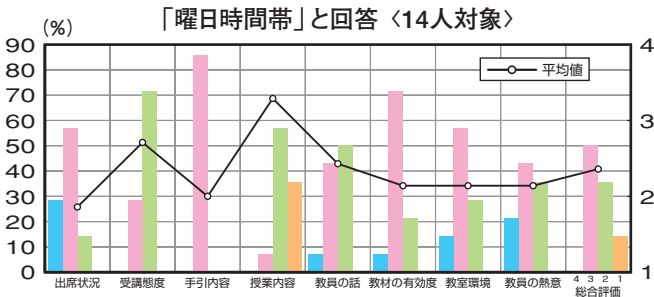
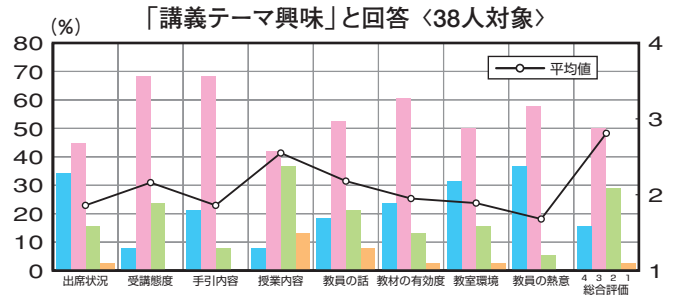
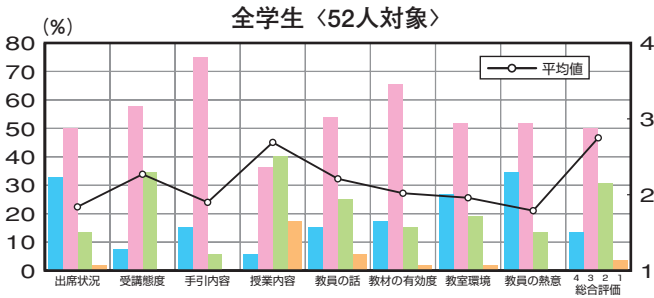
<第8-2図>

選択科目C(2年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ
イ	専門的知識・技能	42人	27人	11人	4人
ロ	時代や社会を見る眼	30人	17人	10人	6人
ハ	知的好奇心・探求心	12人	6人	4人	3人
ニ	学問的研究の方法	3人	2人	1人	1人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	9人	5人	4人	2人

選択科目D(2年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ
イ	専門的知識・技能	21人	16人	6人	5人
ロ	時代や社会を見る眼	23人	17人	6人	4人
ハ	知的好奇心・探求心	7人	6人	1人	1人
ニ	学問的研究の方法	7人	5人	3人	1人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	5人	4人	1人	1人

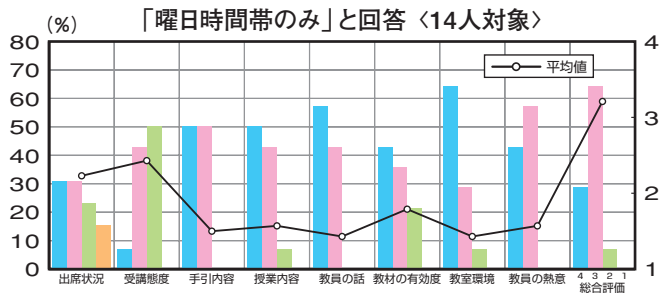
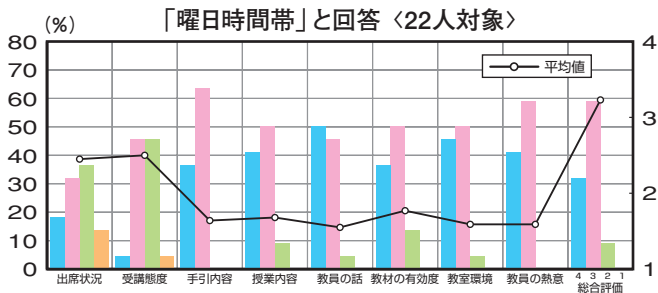
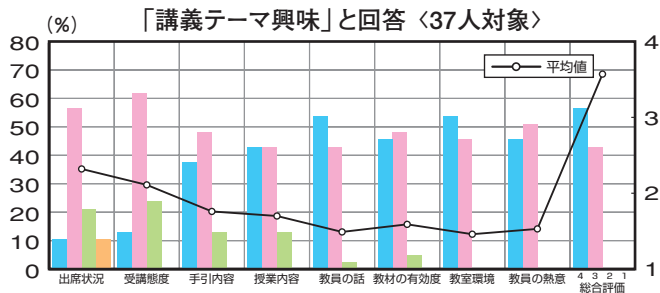
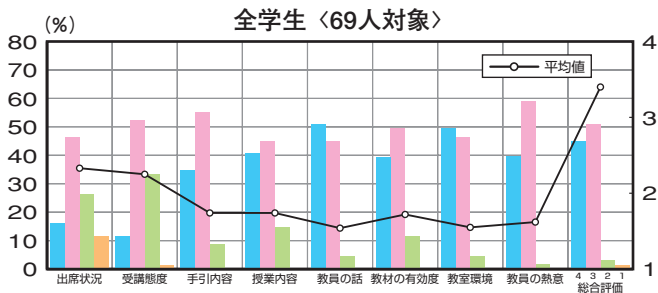
質問項目内容一覧

出席状況	この授業に対するあなたの出席率はどうでしたか?	■ 全部出席	■ 2/3以上	■ 1/2以上2/3未満	■ 1/2未満
受講態度	この授業に対し、あなたは熱心に受講しましたか?	■ 非常に熱心	■ 熱心	■ あまり熱心ではなかった	■ 不熱心
手引内容	「シラバス」は授業内容、授業計画を適切に示していた	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
授業内容	授業内容はわかりやすかった	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
教員の話	教員の話は聞き取りやすかった	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
教材の有効度	教科書、黒板、機器、プリントが有効に使われていた	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
教室環境	私語や携帯電話の使用などがなく、授業に集中できた	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
教員の熱意	教員の授業に対する熱意が感じられた	■ 非常にそう思う	■ そう思う	■ そう思わない	■ 全く思わない
総合評価	この授業に対する総合評価をしてください。4点方で最高が4、最低が1です。	■ 4点	■ 3点	■ 2点	■ 1点



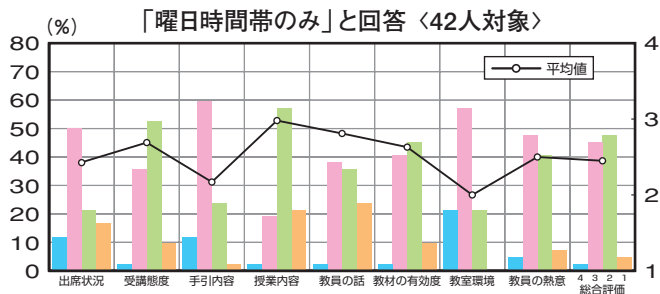
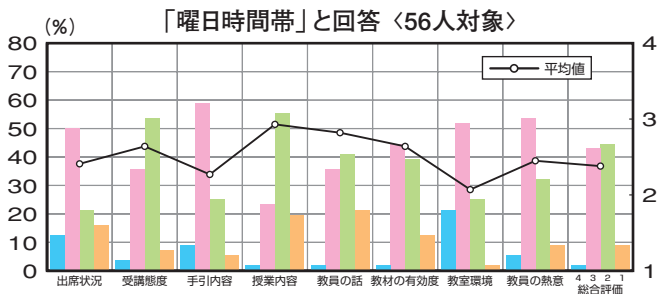
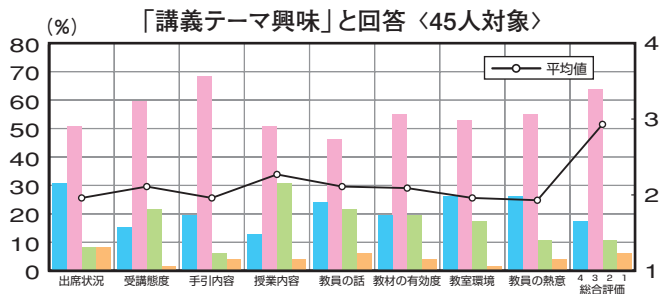
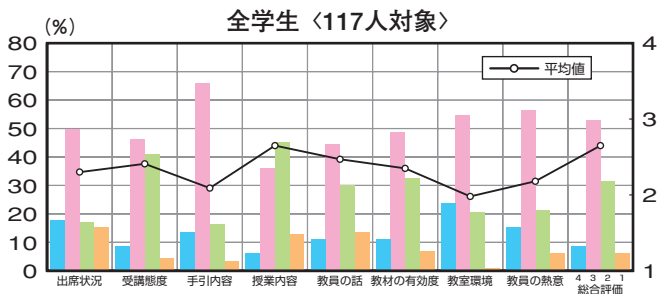
〈第8-3図〉

選択科目G(3年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ
イ	専門的知識・技能	42人	21人	18人	11人
ロ	時代や社会を見る眼	21人	11人	5人	2人
ハ	知的好奇心・探求心	13人	12人	2人	1人
ニ	学問的研究の方法	2人	1人	0人	0人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	7人	3人	2人	2人

選択科目H(3年)



〈授業を通じて得たもの〉(複数回答可)		全学生	講義テーマ興味	曜日時間帯	曜日時間帯のみ
イ	専門的知識・技能	51人	26人	20人	15人
ロ	時代や社会を見る眼	46人	15人	25人	17人
ハ	知的好奇心・探求心	15人	6人	5人	5人
ニ	学問的研究の方法	5人	45人	3人	2人
ホ	豊かな人生を送るための基礎	2人	1人	0人	0人

質問項目内容一覧

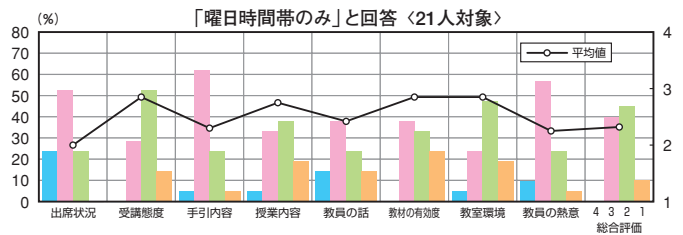
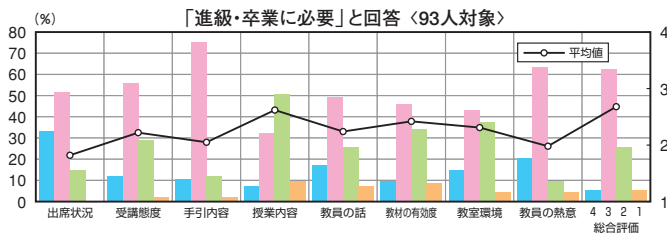
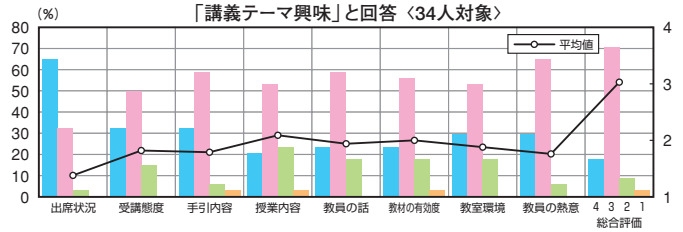
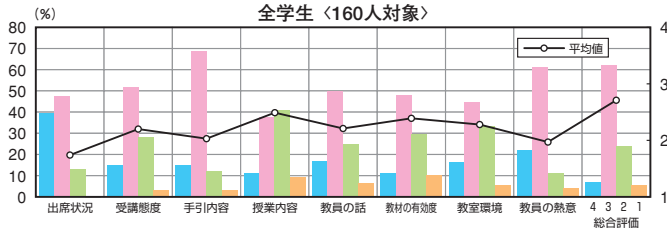
出席状況	この授業に対するあなたの出席率はどうでしたか？	全部出席	2/3以上	1/2以上2/3未満	1/2未満
受講態度	この授業に対し、あなたは熱心に受講しましたか？	非常に熱心	熱心	あまり熱心ではなかった	不熱心
手引内容	「シラバス」は授業内容、授業計画を適切に示していた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
授業内容	授業内容はわかりやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の話	教員の話は聞き取りやすかった	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教材の有効度	教科書、黒板、機器、プリントが有効に使われていた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教室環境	私語や携帯電話の使用などがなく、授業に集中できた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
教員の熱意	教員の授業に対する熱意が感じられた	非常にそう思う	そう思う	そう思わない	全く思わない
総合評価	この授業に対する総合評価をしてください。4点方で最高が4、最低が1です。	4点	3点	2点	1点

# 履修動機の回答別統計 (経営学部)

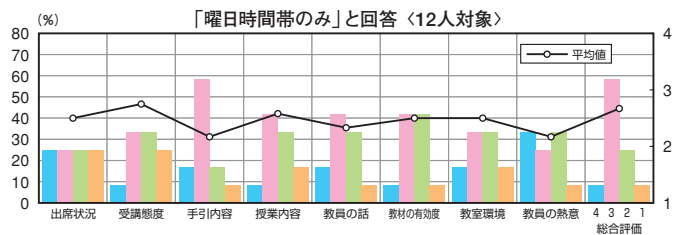
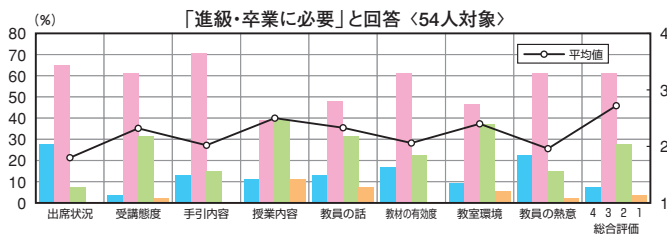
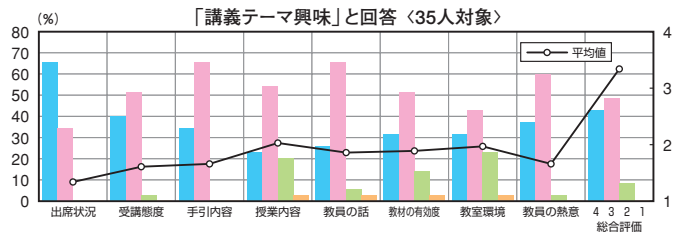
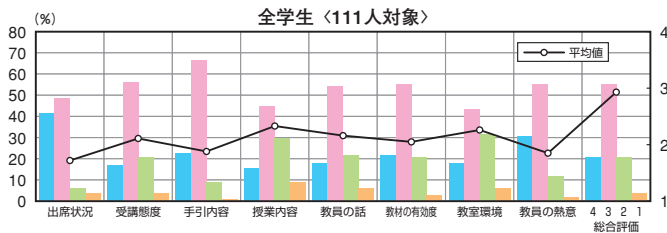
- 履修動機では「進級・卒業に必要」が最大比重。次いで「授業のテーマ・内容に興味」「曜日時間帯の関係」の順。
- 学生の評価では、「テーマ・内容に興味」が最も良好な評価得ている。「曜日時間帯」の者は出席率・自己評価において、かなり劣る結果。
- 「授業を通じて得たもの」は、経済学部 비해、「専門的知識・技能」が飛び抜けて高く出ている(抽出科目によるのか、教育目標・カリキュラムの特色なのかは、なお検討必要)。

問3の回答別にグラフ化  
平均値は4択の回答比率を算出

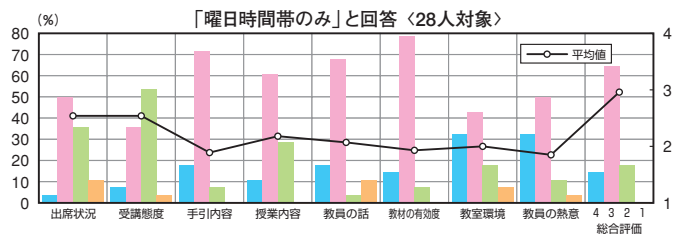
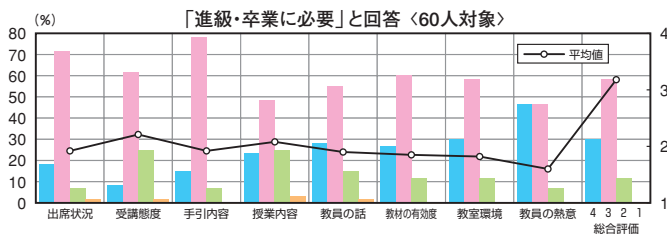
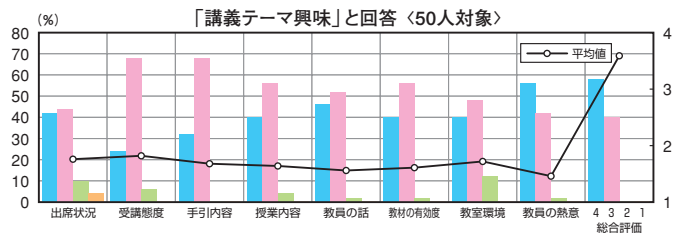
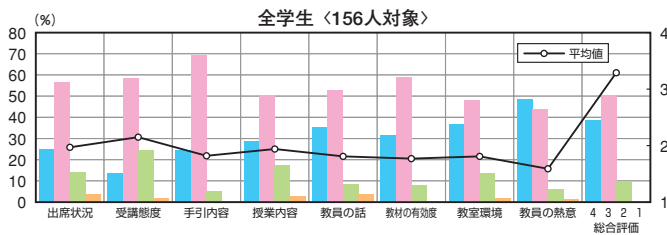
## 選択必修A(2年)



## 選択必修B(2年)



## 選択必修C(2年)





**Sapporo University**